

東京都立 戸山 英語 出題傾向と対策

出題傾向の分析

①はリスニングテスト。短い対話やメッセージを聞き、その内容についての問いに答えるものです。尚、この①は共通問題と同じです。②は10行以内の英文を読むもので、適語句・文補充、適文挿入などが設けられています。また一部、簡単な計算をしなければならないものもあります。今年は、3年前にも見られた誤文訂正や、内容一致も設けられました。③は会話。内容一致がない代わりに、条件英作文があります。今年は「対話の流れに合うように」英作文をする問題で、2、3年前にも見られました。④は説明文。戸山高校がSSH指定の影響もあって、発酵食品やすばる望遠鏡、たんぱく質など、理科系の話題が多いです。この3年、④で4文の並べ替え問題が出されていますが、選択肢がついているので、時間はかかりません。また昨年より、説明文の中で、対比の関係になっている2つの要素が理解できているかを見る問題も登場しました。内容一致は選択肢の数が多のが特徴でしたが、今年は数が抑えられました。

今年の問題は、全体の作りとして、19年度に近かったのですが、その時と比べ、記述の問題が減っています(今年は記述の問題が、全部で3問です)。

入試までに準備しておくこと

文章中に使われている単語、表現は決して難しいものではありません。しかし、先述の通り、ある物質のはたらきや、機器の構造についての説明文があり、情報整理に少々時間がかかってしまうかもしれません。しかし、情報整理ができなければ、全ての問題が解けないわけではありません。できる問題を先に片づけ、少しでも多くの時間を情報整理にまわせるようにしましょう。過去問や、同じような題材の英文を読み、慣れておくことが必要です。条件英作は、昨年からテーマ作文、今年は「対話の流れに合う」英作です。「対話の流れに合う」英作は、その中で、自分自身のアイデアを述べるものが多いので、自分の思ったこと、感じたことが英文で書けるよう、普段の学習で、様々な英語表現を身につけておきましょう。また自分の知っている単・熟語の範囲で、自分の思ったことがきちんと表現できる英作の練習もしておきましょう。リスニングは、継続的に英語を聞き取る練習が必要です。英検準2級・3級程度の聞き取り問題で練習することが効果的です。

| 英語 分野別出題形式 | | 22年度 | 21年度 | 20年度 | |
|------------|----|-------------|------|------|----|
| リスニング | 記号 | 内容理解(含英問英答) | 12 | 12 | 12 |
| | 記述 | 英問英答 | 8 | 8 | 8 |
| | | 和問和答 | | | |
| 小計 | | 20 | 20 | 20 | |
| 語彙 | 記号 | 綴り | | | |
| | | 語形変化 | | | |
| | | 発音・アクセント | | | |
| 小計 | | | | | |
| 文法 | 記述 | 適語(句)選択 | | | |
| | | 適語(句)補充 | | | |
| | | 語順整序 | | | |
| | 記号 | 部分英作 | | | |
| | | 完全英作 | | | |
| 正誤問題・誤文訂正 | | 4 | | | |
| 小計 | | 4 | | | |
| 読解 | 記号 | 内容理解(含英問英答) | | 4 | 4 |
| | | 内容一致 | 16 | 12 | 16 |
| | | 段落・文整序 | | 4 | 4 |
| | | 段落・文・節挿入 | 4 | 4 | 4 |
| | | 適語(句)・文選択 | 32 | 32 | 28 |
| | | 語順整序 | 4 | 4 | 4 |
| | 記述 | 内容理解(指示語など) | | | |
| | | 語形変化 | | | |
| | | 空所補充 | 8 | 8 | 8 |
| | | 和文英訳 | | | |
| | | 部分英作 | | | |
| | | 英問英答 | | | |
| | | 条件英作 | 12 | 12 | 12 |
| 和問和答 | | | | | |
| 小計 | | 80 | 80 | 80 | |
| 合計点 | | 100 | 100 | 100 | |

東京都立 戸山 国語 出題傾向と対策

出題傾向の分析

例年通りの大問5題の構成で、総小問数は25題でした。

一は、漢字の読み取り問題です。比較的平易な出題ですが、「かもく」など、誤答の多い出題もあります。

二は、漢字の書き取り問題です。「祝」など、字形の誤答が多い出題とともに、昨年度は出題されなかった四字熟語の書き取り問題も出題されました。

三は小説文の読解です。心情を問う出題が多く、例年通り、心情の説明をする記述形式の設問がありました。

四は、論説文からの出題です。問5に200字の小論文問題が出題された他、問2にも記述形式の出題がありました。

五には例年、鑑賞文が出題されています。語句の意味、接続語の穴埋め問題を含んで5題すべてが記号選択形式だった例年に対して、今年度は問1が記述形式での解答となりました。

全体を通し、課題の文章の量が多く、読解に時間がかかると考えられます。

| 国語 出題分野一覧表 | | 22年度 | | 21年度 | | 20年度 | |
|------------|-------------|------|-----|------|-----|------|-----|
| | | 記号 | 記述 | 記号 | 記述 | 記号 | 記述 |
| 漢字 語彙 | 漢字の読み取り | | 10 | | 10 | | 10 |
| | 漢字の書き取り | | 10 | | 10 | | 10 |
| | 四字熟語・語彙 | | | | | | |
| 文法・表現 | | 5 | | | | | |
| 敬語 | | | | | | | |
| 資料を含む文章 | | | | | | | |
| 小説 | 心情を問う設問 | 10 | 10 | 15 | 5 | 15 | 10 |
| | 場面を問う設問 | 5 | | 5 | | 5 | |
| | 語句 | | | | | | |
| | 本文との正誤問題 | | | | | | |
| 論説 | 接続語の補充 | | | | | | |
| | 傍線部の理由を問う設問 | 5 | | | 5 | 5 | |
| | 傍線部の説明を問う設問 | 10 | 5 | 5 | | 10 | 5 |
| | 段落関係を問う設問 | | | | | | |
| | 語句 | | | | | | |
| 鑑賞文 | 本文との正誤問題 | | | 10 | | | |
| | 接続語の補充 | | | 5 | | | |
| | 傍線部の理由を問う設問 | 5 | | 5 | | | |
| | 傍線部の説明を問う設問 | 5 | 5 | 5 | | 8 | 4 |
| | 韻文の表現を問う設問 | 5 | | | | | |
| | 語句 | | | 5 | | 4 | |
| 随筆 | 本文との正誤問題 | | | 5 | | 4 | |
| | 接続語の補充 | | | | | | |
| | 傍線部の理由を問う設問 | | | | | | |
| | 傍線部の説明を問う設問 | | | | | | |
| | 段落関係を問う設問 | | | | | | |
| 作文 | 語句 | | | | | | |
| | 本文との正誤問題 | | | | | | |
| 合計 | | | 10 | | 10 | | 10 |
| | | | 100 | | 100 | | 100 |

入試までに準備しておくこと

漢字の書き取りは小中学校で学んだものから出題されます。正確な字形を確認しながら覚えるようにしましょう。また、四字熟語が出題されることも多いため、基本的な四字熟語や、三字熟語の知識も必要です。

全体を通して、文章の読解に時間がかかると考えられます。小説では、記述形式で心情を解答する出題があるため、登場人物の心情を的確に表現できる語彙を身につけておく必要があります。また、短時間で端的に自分の考えをまとめる練習をする必要があります。過去問を解いて小論文問題の練習をし、必ず他の人に見てもらいましょう。

東京都立 戸山 数学 出題傾向と対策

出題傾向の分析

出題構成は例年通りの大問4題、うち1題が独立小問集合形式で、総小問数は、15題でした。

①は平方根の計算, 2次方程式, 連立方程式, 確率, 素因数分解を利用する平方根の5題でした。

②は放物線と直線の問題で、直線の式, 面積比と線分比, 正三角形でした。今回のように面積比がわかっている状態から線分比を求めにいく手段は、ときおり出題されます。また座標平面上で、正三角形が出題された場合、 30° , 60° の三角定規型を作ることが多いです。

③は円で、円周角, 相似の証明, 半径を求める問題でした。戸山の証明は毎年、円が題材になっていますが、その傾向は変わりありませんでした。また、角度の問題は、弧に円周角を書くこととアルハゼンの定理を知っていると解きやすい問題でした。作図については最近、円がある状態から始まるが多いため、円の中心や接線の作図は確実にできるようにしておく必要があります。

④は空間図形で、動点, グラフの利用, 表面上の最短距離でした。自校作成入試が始まって以来、8年連続で空間図形に動点またはサイコロを絡めた問題でした。また、立体表面上の最短距離は他の都立自校作成校でも頻出です。

入試までに準備しておくこと

難易度の違いはあるものの、出題傾向は毎年ほぼ変わりません。よって、頻出単元である、関数, 円(証明を含む), 空間図形と動点は過去問題を中心に、よく演習しておきましょう。特に関数では図形との融合問題が多いため、図形の性質(特に比を利用した三平方の定理と相似を作って、比を移すこと)を使うことを意識して、取り組みましょう。空間図形については、状況に応じて図を書き分けることや、面を抜き出していくことを丁寧に作業していきましょう。また、素因数分解, 最小公倍数・最大公約数, 剰余などの整数問題の基本・典型に慣れる必要があります。そして、できる限り多くの都立高校の過去問で記述や証明問題を演習しましょう。

| 領域 | 内容 | 配点 | | |
|---------|--------------|------|------|------|
| | | 22年度 | 21年度 | 20年度 |
| 数と式 | 数の性質・表現 | 5 | 10 | 5 |
| | 数の計算 | | | |
| | 式の計算 | | | |
| | 平方根 | 5 | 5 | 5 |
| | 多項式の乗法 | | | |
| | 因数分解 | | | |
| | 小計 | 10 | 15 | 10 |
| 方程式 | 1次方程式 | | | |
| | 連立方程式 | 5 | 5 | 5 |
| | 2次方程式 | 5 | 5 | 5 |
| | 方程式の応用 | | | |
| | 不等式・不等式の応用 | | | |
| | 小計 | 10 | 10 | 10 |
| 関数 | 比例と反比例 | | | |
| | 1次関数 | 8 | | |
| | 2次関数 | | | |
| | 変化の割合・変域 | | | |
| 関数と図形 | 直線と曲線 | 7 | 25 | 7 |
| | 関数と図形 | 18 | | 17 |
| | 小計 | 33 | 25 | 24 |
| 三角形・四角形 | 角度 | | 5 | |
| | 作図 | 5 | 8 | 8 |
| | 合同 | | | |
| | 相似 | 15 | | |
| | 三角形 平行四辺形 | | | |
| 円と平面図形 | 円周角の定理 | 5 | | |
| | 円と弧・弦・接線 | | | |
| | 線分, 線分比 | | 10 | 10 |
| | 面積, 面積比 | | 7 | 14 |
| | 点の移動と図形 | | | |
| 空間図形 | 線分, 線分比 | 10 | 8 | |
| | 面積, 面積比 | | | |
| | 体積, 体積比 | | 7 | 7 |
| | 点の移動と図形 | 7 | | 10 |
| | 回転体, 球 | | | |
| | 小計 | 42 | 45 | 49 |
| 確率 | 場合の数 | | | |
| | 確率 | 5 | 5 | 7 |
| 総合問題 | 数と式 | | | |
| | 図形 | | | |
| | その他 | | | |
| | 小計 | 5 | 5 | 7 |
| | 合計 | 100 | 100 | 100 |